

広島労働局長による安全パトロールを実施

広島労働局では、令和6年7月4日に建設業労働災害防止協会広島県支部と合同で、「広島駅南口広場の再整備等における駅前大橋線橋りょう等新設工事」（広島市南区）において、安全パトロールを実施しました。



パトロールの冒頭、釜石労働局長から、建設業における労働災害発生状況等について説明があり、熱中症予防対策、墜落・転落災害防止のためのリスクアセスメントを実施し、一人一人が安全に働くことのできる職場環境を築いて頂きたいと、呼びかけが行われました。



現場では、墜落・転落災害防止対策として手すりの設置や落下防止用ネットの確実な取付け、熱中症予防対策としての無料自動販売機の設置等、様々な好事例の取組が行われていました。



広島労働局長による激励



パトロール終了後には講評が行われ、広島労働局健康安全課長から、無災害による工事完成をお願いしました。

